

研究課題名	慢性閉塞性肺疾患の増悪に対する呼吸筋力の影響を検討するための後方視的研究
研究の意義・目的	<p>慢性閉塞性肺疾患(COPD)は、タバコ煙を主とする有害物質を長期に吸入暴露することで生じる肺の慢性疾患です。COPD では、肺以外にも全身に影響を及ぼすため、様々な併存症が存在します。骨格筋の機能障害は、重要な併存症の 1 つです。呼吸筋は骨格筋の一部であると同時に、呼吸システムにも関係しています。したがって、呼吸筋の評価は、COPD の病状の理解に役立つと考えられます。</p> <p>COPD の患者様は、感染症などをきっかけに、息切れ・咳・痰などの症状が悪化して治療が変更となる、増悪をしばしば経験します。増悪を繰り返して起こすと、呼吸状態だけではなく、肺機能や全身の体力が低下し病気が悪化してしまうため、増悪の予測が重要です。</p> <p>本研究では、呼吸筋力が COPD の増悪に影響しているという仮説のもと、これらの関係を調べる事で、呼吸筋の評価が、増悪の予測に有用かどうかについて明らかにします。</p>
研究を行う期間	機関の長の実施許可日 ~ 2026 年 12 月
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	2015 年 6 月~2021 年 12 月に大阪公立大学医学部附属病院の呼吸器内科に、COPD の診療のため外来通院された方の中で、呼吸筋力を測定された方が対象となります。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせ ていただく試料・情 報等の項目	<p>診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。</p> <p>診療情報：</p> <p>診断名、年齢、性別、身長、体重、病歴、症状、既往歴、治療内容、COPD 増悪発症の有無、呼吸機能検査結果、呼吸筋力検査結果、握力検査結果、体組成検査結果(BIA 法)、6 分間歩行検査結果</p>
試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称	<p>この研究は、公立大学法人大阪、大阪公立大学医学部附属病院呼吸器内科のみで行います。</p> <p>【研究責任者】 大阪公立大学大学院医学研究科 呼吸器内科学 浅井 一久</p>
本研究の 利益相反	<p>利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。</p> <p>本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p>
研究に協力を したくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。

連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 呼吸器内科学 (担当者氏名) 古川 雄一郎 電話番号：(06) 6645-3916 メールアドレス：gr-med-respirmed@omu.ac.jp
------------	--